

(様式第3号)		SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）																		
カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目															
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
人権・労働	1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・(予定) 性別、年齢、国籍、出身等による差別の撲滅を社的に共有し、相談窓口を設けてゆく					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7	
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・(予定) セクハラ、マタハラ、パワハラ等ハラスメントの撲滅を社的に共有し、相談窓口を設けてゆく					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1	
	3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・労働基準法の改正を把握し、就業規則や36協定に労働時間の規定を設け、長時間労働の是正を行っている ・在宅勤務等多様な働き方を許容する勤務体制の整備に取り組んでいる								8.5 8.8								
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・(予定) 外国人労働者に対する差別の撲滅を社的に共有し、相談窓口を設けてゆく				4.4				8.7 8.8	10.2 10.3							
	5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・安全衛生主任者を配し、安全衛生会議を定期的に行い、労災発生防止に努めている ・年間を通じ安全衛生に関する標語、ポスター等を掲示し、社内に周知している			3					8								
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・(予定) メンタルヘルスに関する職場の理解を促進する為の研修を受け、メンタルヘルスの相談窓口を設ける			3													
	7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・「社員の子育て応援宣言」に登録している ・就業規則に育児・介護休業規則を設けている ・遠隔地勤務や在宅勤務等多様な勤務体制の整備に取り組んでいる					5.1 5.5			8.5	10.2 10.3							
	8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・職務や役割応じた資格取得や研修を推奨し、社内の有資格者登録を行っている ・(予定) 個人別教育・訓練計画の作成してゆく			4	5.5			8	9								
	9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・(予定) 同一労働同一賃金の原則に沿ってダイバーシティ経営に 対応した公正な待遇を構築してゆく				5.5			8.5	10.2 10.3								
	10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・協会けんぽの健診を毎年実施している ・健康相談・面接指導を利用し従業員の健康維持に取り組んでいる			3				8									
環境	11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・廃棄物は産廃業者を通じ適切な処理をしている ・ペーパーレス化、簡易梱包化に取り組んでいる											11.6	12.4	14.1			
	12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・地域産、国内産木材の供給を通じ、CO2の固定量を把握し、CO2の削減、温暖化防止に貢献している						7.3					13					
	13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・項12 ・丸太製材、木材加工で排出される木くずを工場内の木材乾燥機の熱源燃料として使用しサーマルリサイクルしている					7.2 7.3					12.4	13.3					
	14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・接着剤、塗料、潤滑油、燃料等の使用量を管理し、人体、環境への有害性を把握している ・上記化学物質のリスクアセスメントを行っている			3.9		6.3				11.6	12.4						
	15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・森林サイクル(伐って、使って、植えて、育てる)の担い手として、森林育成、国土保全に貢献している ・項30、34				6.6							15					
	16	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・原料(原木)は外皮、木屑を含め100%利用している											12.5	14.1				
	17	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・木材乾燥に使用する水蒸気循環設備の維持管理し、水蒸気ロスの低減に取り組んでいる				6.4 6.6												
	18	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・当社の生業(木材の有効利用供給)が社会環境に貢献する業務の為、環境マネジメントの取得は予定していない	1 6.6	2 3.9	3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17	10 11 12 13 14 15 16 17	11 12 13 14 15 16 17	12 13 14 15 16 17	13 14 15 16 17	14 15 16 17	15 16 17	16 17	17					

(様式第3号)		SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）																			
カ テ ゴ リ	非該 当	チェック項目	取組 レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
公正な事業慣行	19	<input type="checkbox"/> 【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・カタログ、HP等各種媒体を通じ開示している															12.6		
		<input type="checkbox"/> 【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・丸太製材、木材加工で排出される木くずを木材乾燥のバイオ燃料として使用している									7.2					13			
		<input type="checkbox"/> 【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・グリーン購入法、合法木材、SGEC、FSC、信州木材製品認証を通じ、原料の使用に努め、トレーサビリティを確立している													12.2	13	14	15	
製品・サービス	22	<input type="checkbox"/> 【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・汚職、贈収賄に関与無き様、就業規則に規定し社内周知している															16	16.5	
		<input type="checkbox"/> 【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・不正競争行為に関与無き様、就業規則に規定し社内周知している															16		
	24	<input type="checkbox"/> 【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・特許、実用新案、商標等知的財産権の取得、管理をしている									8.2	9							
		<input type="checkbox"/> 【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・ネット環境から切り離した専用PCで取扱管理者を決め、個人に関わる情報を管理している															16		
	26	<input type="checkbox"/> 【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・紛争鉱物の使用や取扱はしないことを確認している															16		
		<input type="checkbox"/> 【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・反社会的勢力との関係排除を社内周知している ・(予定)供給者の評価、選定基準を作成する					5		8	10	12	13	14	15	16	17			
	28	<input type="checkbox"/> 【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・製品の仕様、使用環境条件をJAS認証ラベル等で開示している ・日本集成材共済会の「構造用集成材瑕疵担保保証制度」に加入している		3.9										12.4					
社会貢献・地域貢献	29	<input type="checkbox"/> 【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・木材、木材製品の品質管理、品質保証制度の認証、認定を取得し品質保証の仕組みを構築している									9								
		<input type="checkbox"/> 【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・木質材の適材適所使用や木質構造の設計協力に取り組んでいる ・丸太製材、木材加工で排出される木屑を木材乾燥の燃料として使用、また端材をチップ加工し再利用している					6				12	13	14	15					
	31	<input type="checkbox"/> 【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・2010年の公共建築物等における木造利用促進に関する法律成立から、鋼材内蔵型耐火集成材及び燃え止まり型耐火集成材を開発し、木造化が難しい都市部や高層建築の木造化を実用化し、国産材の利用率向上に取り組んでいる	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	<input type="checkbox"/> 【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本		・地域の建設業振興会、商工会、防犯協会、職業安定協会等に加盟し「地域いきいき券」の取扱店もしている ・国産材・地域材利用向上に向け、積極的に工場見学を受け入れている																	
33	<input type="checkbox"/> 【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ		・地域のボランティア清掃や祭り事等に参加や各種関連団体への協賛、寄付を行っている ・地域の消防団協力事業所表示制度に加入している ・植樹祭等地域材の育林事業に協力し、地域材の有効利用に貢献している																	
34	<input type="checkbox"/> 【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ		・創業以来、地域の唐松材有効利用に努め、全国に信州唐松を使った製品の販促を推進している ・信州唐松を使った耐火集成材を開発し、木造化が難しい都市部や高層建築の木造化を実用化し、国産材、地域材の利用率向上に取り組んでいる ・信州木材製品認証工場の認証を取得している ・国有林分収育林事業の名譽オーナー認定を取得している							8	9	11	12	13						

(様式第3号)		SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）																		
カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目															
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
組織体制	35	<input type="checkbox"/> 【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念・方針を明文化し社内外に示している。 ・毎月、安全、品質、経営目標を示し、全事業所に掲示し共有している								8	9							17
	36	<input type="checkbox"/> 【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・掲示板・社内集会等で法令遵守(コンプライアンス)の重要性を全社員に示している ・建築基準法、消防法、労基法等の法改正情報を入手し法令遵守する体制を整備している																16
	37	<input type="checkbox"/> 【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・各事業所に所属長、担当責任者を配置している ・総務が中心となり組織体制整備をしている																16
	38	<input type="checkbox"/> 【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	・経営者が直接ステークホルダーと対話し、具体的な対応に努めている																16 17
	39	<input type="checkbox"/> 【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・接着剤、塗料、潤滑油、燃料等の使用量を管理し、人体、環境へのリスクアセスメントを行っている ・労働環境に対しリスクアセスメントを行い、適切な対策を講じている																16
	40	<input type="checkbox"/> 【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・規格、基準、法令を遵守市企業活動に責任を持って取組んでいる																16
	41	<input type="checkbox"/> 【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・(予定)BCP(事業継続計画)を策定する										9	11	13	13.1			16
	42	<input type="checkbox"/> 【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・後継者候補がいる (予定)後継者育成計画を検討し作成する									8	9						17